

常磐炭礦界は今後どうなる？

發行所 東京市神田區大塚
電話 五五五
廣告料 五五五
新開定額 二二二

常磐炭礦界は今後どうなる？

(其の一)

今や資本家的産業合理化は製糸染織事業を第地に陥入
況ゆる産業に亘つて促進され、他方アメリカに於ける
れつ、あり、客觀的には、昨年十月以降の打撃は、經濟
銀價の暴落、労働者の延擱、恐慌は生糸羽二重絹織物の
スピードアップ、經營の縮減輸出に致命的減退を招來し
少乃至は工場閉鎖等々、石炭の主要な需要用途
して表はれ、益々その傾向は、海陸の運輸機關と紡績製
菓の一方である、全國二百系工業がその大半を占める
萬の失業者は飢餓の底に墜ち、輕工業の閉鎖倒壊と海
に呻吟し、故意に飢饉を働運の不振は炭礦事業にと
らいて刑務所行を志望するつて之以上の打撃はないで
もの、輩出多きを新聞は報あらう、斯る客觀的情勢を
導してゐる、労働者の止む今一つは由來日本の石炭總
に止まれ、待遇改善の要求、産出量は國內の供給に多少
闘争は尖鋭化しストライキの剩餘を見るも、他國へ輸
の波は急々昂まつて内務省出する程の採炭は不可能で
統計課を吃驚せしめてゐる、あるといふ特殊な點だ。
日本の炭礦事業に對して此却説、然らば常磐の各炭礦
の合理化は如何に進められはざるか？ 筆者はこ
つゝあるか？ 採炭の能率の
機械の使用（コールドカッタ
コンベヤ等）等に依つて
人間労働力は驅逐されて需
要減じ、採炭方法が加速度
に機械化されつつある。

額の大きな事
等を列挙する事が出来るで、價するに之を労働者の負擔
あらう、常磐五大炭礦がシに轉嫁することを常習とし
ンデグットを結び木曜會を初めてゐる。
中心として出炭制限の協定北九州炭の京濱兩方面侵
をなしつゝあるが、動搖不北九州炭の東北進出
定な木曜會の膽敢によりつ、蝕いふ兩局面よりの攻撃に
ては、亂掘、ダンピング防止つて常磐炭礦界の市場は益
の徹底を期するに至難であられ不振の痛手を更に深め
らう殊に個人經營の中小炭
礦に於ては概ね亂掘亂賣に
よつて産業を繼續してゐる
のが少くない。

貧農青年と社民黨員の對話

而かも九州炭は常磐を遙の遙、政府には税金の支勢ひ抽象的な
かにぬく良質炭にして海路拂渡の要求を以て運動をけのビラに終つてしまふ
を迫つて關東への進出をな起すことが喫緊の事だ」やないですか
しつゝあるが常磐の惡質炭
よりも價格低廉なる爲需要
者は漸次常磐炭を見限りつ
ゝあると聞く、この販路狭
少は炭礦主をして大衆的解
雇、猛烈な賃下、臨時公休
の増加、經營の思切つた縮
少方法を採らしむるであら
う、淺野翁の大名濱商港實
も解せない、吾々は名士政
治家新聞などで農村疲弊の
打破はどうかと意見を見
聞してゐるが、スローガン
は少くも短章の中に成程と
感受させる處の具體的な判
り易い意味で表現されねば
ならぬと思はれますが」
「強いて理屈で押せばそ
うも言へるが、而らばこの
を喚起せしめ社民黨の傘下
に結集した大衆の力を猛烈
な運動を起す爲の宣傳だ」
「然しこの抽象的なスロ
ーガンのみを以てしては大
衆にピンと行かぬスローガ
ンになつてどうせ益だか
け糞になつて一切の苦惱を
人間的苦惱にならぬと人々
に訴へる、こんな場合は
紛らうとする、こんな場
合に六ツ七ツのスローガン
を並べた式に並べて撒布し
るの政策の様にしか考へら
れませんか、先にあなたが
言つてゐる目的がこのビラ
に絶対に見えられてゐるか
つたといふことに結論がな
ります」
「君の述べたことは
一つのスローガンに就いて
殆んどアラ捜しの批判に
なつたが、兎に角我々社民
黨は全大衆の政黨として日本
の労働階級より最大の支持
を受けてゐる」
「それは無産階級の運動
を完全に支配する事の不可
能を知つてゐる支配階級が
社民黨の如き政黨の發展を
助成して居り、この政黨に
關係しても何等壓迫を受け
ない、皮相的には大衆
の全信頼を得てゐるかの如
く見えるのです、プロレタ
リアとブルジョアの利害は
決して兩立し得ない、だか
ら厳格な階級的立場に起つ
て決死的な闘争をする者は
常に苦難を経験せねばなら
ぬと思ひます、話は横道に反
れたが一つのスローガンを
掲げるにしても大衆に判り
易い懇切さと責任とがなけ
ればならぬと思ふのです。
要之、あなたの方の撒布し
たビラは其自體がごちな
いばかりか骨投損に終つた
といふことを言ひたかつた
のです。」

貧農青年と社民黨員の對話

大倉無煙第一第二第三第四
坑の休山炭の開口、千代
田、重内、雁ノ倉各坑の休
山を初めとし其他大小無數
の休山炭出し賃銀未拂の儘
に休山する川瀬坑の如もの
あり、炭の小野田長倉坑の
如く委託經營となるものあ
り、十一回分の會計支拂を
爲さずして居る小田萩原
坑がある、其他常磐の各炭
礦を通じて行はれて居るの
は労働者を犠牲とする出炭
制限の爲の操短である、既
に磐炭に於ては五日に一度
を必ず公休として従業員の
入坑を許さない炭價間代の
恐ろしく低下してゐる今日
五日一度の強制公休は正に
従業員にとつての死活問題
でなければならぬ。會社は
營困難を理由として、賃銀
の値下げ、老級の淘汰に經
いののです」
「農村の疲弊した現状を
A『だから地主には小作料
を加重する、吾々百姓は泣
き面に峰です』
B『それは無産階級の運動
を完全に支配する事の不可
能を知つてゐる支配階級が
社民黨の如き政黨の發展を
助成して居り、この政黨に
關係しても何等壓迫を受け
ない、皮相的には大衆
の全信頼を得てゐるかの如
く見えるのです、プロレタ
リアとブルジョアの利害は
決して兩立し得ない、だか
ら厳格な階級的立場に起つ
て決死的な闘争をする者は
常に苦難を経験せねばなら
ぬと思ひます、話は横道に反
れたが一つのスローガンを
掲げるにしても大衆に判り
易い懇切さと責任とがなけ
ればならぬと思ふのです。
要之、あなたの方の撒布し
たビラは其自體がごちな
いばかりか骨投損に終つた
といふことを言ひたかつた
のです。」

而かも九州炭は常磐を遙の遙、政府には税金の支勢ひ抽象的な
かにぬく良質炭にして海路拂渡の要求を以て運動をけのビラに終つてしまふ
を迫つて關東への進出をな起すことが喫緊の事だ」やないですか
しつゝあるが常磐の惡質炭
よりも價格低廉なる爲需要
者は漸次常磐炭を見限りつ
ゝあると聞く、この販路狭
少は炭礦主をして大衆的解
雇、猛烈な賃下、臨時公休
の増加、經營の思切つた縮
少方法を採らしむるであら
う、淺野翁の大名濱商港實
も解せない、吾々は名士政
治家新聞などで農村疲弊の
打破はどうかと意見を見
聞してゐるが、スローガン
は少くも短章の中に成程と
感受させる處の具體的な判
り易い意味で表現されねば
ならぬと思はれますが」
「強いて理屈で押せばそ
うも言へるが、而らばこの
を喚起せしめ社民黨の傘下
に結集した大衆の力を猛烈
な運動を起す爲の宣傳だ」
「然しこの抽象的なスロ
ーガンのみを以てしては大
衆にピンと行かぬスローガ
ンになつてどうせ益だか
け糞になつて一切の苦惱を
人間的苦惱にならぬと人々
に訴へる、こんな場合は
紛らうとする、こんな場
合に六ツ七ツのスローガン
を並べた式に並べて撒布し
るの政策の様にしか考へら
れませんか、先にあなたが
言つてゐる目的がこのビラ
に絶対に見えられてゐるか
つたといふことに結論がな
ります」
「君の述べたことは
一つのスローガンに就いて
殆んどアラ捜しの批判に
なつたが、兎に角我々社民
黨は全大衆の政黨として日本
の労働階級より最大の支持
を受けてゐる」
「それは無産階級の運動
を完全に支配する事の不可
能を知つてゐる支配階級が
社民黨の如き政黨の發展を
助成して居り、この政黨に
關係しても何等壓迫を受け
ない、皮相的には大衆
の全信頼を得てゐるかの如
く見えるのです、プロレタ
リアとブルジョアの利害は
決して兩立し得ない、だか
ら厳格な階級的立場に起つ
て決死的な闘争をする者は
常に苦難を経験せねばなら
ぬと思ひます、話は横道に反
れたが一つのスローガンを
掲げるにしても大衆に判り
易い懇切さと責任とがなけ
ればならぬと思ふのです。
要之、あなたの方の撒布し
たビラは其自體がごちな
いばかりか骨投損に終つた
といふことを言ひたかつた
のです。」

而かも九州炭は常磐を遙の遙、政府には税金の支勢ひ抽象的な
かにぬく良質炭にして海路拂渡の要求を以て運動をけのビラに終つてしまふ
を迫つて關東への進出をな起すことが喫緊の事だ」やないですか
しつゝあるが常磐の惡質炭
よりも價格低廉なる爲需要
者は漸次常磐炭を見限りつ
ゝあると聞く、この販路狭
少は炭礦主をして大衆的解
雇、猛烈な賃下、臨時公休
の増加、經營の思切つた縮
少方法を採らしむるであら
う、淺野翁の大名濱商港實
も解せない、吾々は名士政
治家新聞などで農村疲弊の
打破はどうかと意見を見
聞してゐるが、スローガン
は少くも短章の中に成程と
感受させる處の具體的な判
り易い意味で表現されねば
ならぬと思はれますが」
「強いて理屈で押せばそ
うも言へるが、而らばこの
を喚起せしめ社民黨の傘下
に結集した大衆の力を猛烈
な運動を起す爲の宣傳だ」
「然しこの抽象的なスロ
ーガンのみを以てしては大
衆にピンと行かぬスローガ
ンになつてどうせ益だか
け糞になつて一切の苦惱を
人間的苦惱にならぬと人々
に訴へる、こんな場合は
紛らうとする、こんな場
合に六ツ七ツのスローガン
を並べた式に並べて撒布し
るの政策の様にしか考へら
れませんか、先にあなたが
言つてゐる目的がこのビラ
に絶対に見えられてゐるか
つたといふことに結論がな
ります」
「君の述べたことは
一つのスローガンに就いて
殆んどアラ捜しの批判に
なつたが、兎に角我々社民
黨は全大衆の政黨として日本
の労働階級より最大の支持
を受けてゐる」
「それは無産階級の運動
を完全に支配する事の不可
能を知つてゐる支配階級が
社民黨の如き政黨の發展を
助成して居り、この政黨に
關係しても何等壓迫を受け
ない、皮相的には大衆
の全信頼を得てゐるかの如
く見えるのです、プロレタ
リアとブルジョアの利害は
決して兩立し得ない、だか
ら厳格な階級的立場に起つ
て決死的な闘争をする者は
常に苦難を経験せねばなら
ぬと思ひます、話は横道に反
れたが一つのスローガンを
掲げるにしても大衆に判り
易い懇切さと責任とがなけ
ればならぬと思ふのです。
要之、あなたの方の撒布し
たビラは其自體がごちな
いばかりか骨投損に終つた
といふことを言ひたかつた
のです。」

内 科
專 門
陽 明 院
十二指
腸 胃 病

婦 人 病
專 門
皮膚 病
陽 明 院
七〇一話電

松村村松
電話 一九六番

平町驛前
料理 松の壽司
仕出し 電話 一九六番

扇屋飲食品の

値下を勧告す

殊に被疑者辨當を改善せよ

養に平警察署長荒井市太郎量極めて乏しく容器は木製
氏は濱口内閣施政方針に司のものにして塗料の漆は剥
り緊縮政策徹底を期す可く落し飯汁に剥片混入し或は
先づ湯銭、理髪料金、飲食、接ぎ目に間隙を生ずる等外
物等の値下に盡方したる點觀の甚だ穢褻なるに加へて
は町民諸君の等しく認めて衛生上より見るも批難せざ
感謝を惜まざる處である。
尤も結果に於て實質的な感なきに陰濕と不衛生の
續を見なかつたことを憾み
各飲食店業者が一應その
値下を断行せしに不拘、警しなく、況や嫌疑其他の被
警察當差入指定たる扇屋の監禁者に於てをやだ。
如きは従前同様一厘の値下
もせず暴利を恣にするの
しきに記者は公憤を禁せ得
ざるものである。從來扇屋
の營業は警察署のあるこ
によつて殆ど獨占的利益を
占め現在に於ても多く警
署との間に極端な利害關
係を持ちつゝあることは
の要なく衆知の事實であ
る。平町飲食業者に積極
値下勧告の當事者たる荒
署長にして獨り扇屋が
貪りつゝある高利に氣が
かぬ筈があるであらうか
素より署長の値下勧告の
無は別とすると、扇屋が
察署を御用先としてある
事を以て恰も治外法權的
場にあるが如く自負し、食
料品の量質を無視して時
に振きたる高利主義の營
しつゝあるの識りを免れ
ざることを記者は認める
のである。
記者は度々留置場に拘禁
るゝことあり、他人以上
の事情に通じて居るが留
置場に拘禁者等は、何に
對しては被拘禁者或は他
の飯食を給與して呉れる
之は刑務所未決同様であ
る。飯量一合内外副食物
の望み止まるのである。

白鳥鑛泉

春木屋旅館紹介

湯本町より國道を南に向ひ痛の患者が春木屋に數日入
國道を折れて約六丁の地點浴を試みる中、見る／＼足
其處は有名な靈泉の湧く白鳥の立つた實例は珍らしく
鳥の湯である、此間乗合自來水、鑛泉地方は多く斯種
動車、腕車の便あり名高い鑛泉に富めるが白鳥鑛泉
鑛泉旅館春木屋は織内祐木屋の湯は靈効顯著な
助氏の經營によるもので金のはなしと思ふ。
に惜しみなく建築、座敷の老杉疊として繁り枯淡な
閑取、植込み花壇に意匠を風景の中に一日の行樂を
凝らし一點批難の打ちどころ求めて疲勞を癒やす爲に
ろがない、鑛泉旅館春木屋實に好個の保養地である。
の名は遠く東京關西方面に記者は神経痛リウマチス等
も知れ良醫に匙を投げられに苦患される人々に白鳥
現に醫學界に於ても難治と本屋の湯を廣く告げ大いに
されてゐるリウマチス神経痛を推奨するものである

或る教員の日記

九月一六日 日曜

鳥部生

一九二六年の九月十六日！感慨無量だ。
大袈裟な本と愛猫一匹を随分な日たからこそ今日の
は去年の今日——九月十六日昨日退勤の際「日曜に世話
日——であつた、僕の生れでも理科室の整理を頼む」
たのが一九〇九年九月十六日校長に云付けられてゐる
日！であるから、今日で丁度僕は今朝小早く理科室
度満十八才となつたのだに詰めて着々整頓に急い
うだ、大杉が甘粕に惨殺された、九時の整頓終了を
されたのも一九二三年の今日告げる頃日直當番の女教師
日であつた、願へば想ふ程が見え、ピアノを三度叩
奇しくもゆかり深い日であつて、理科室に僕を見つ

けて走つて来た彼女は手傳してゐたらしく急いで理
を致します！といつて理科室に來り、
の整理などを初めた人影「君方は何をしたのです萬
つない廣々とした日曜の校舎の中腹の戸板に圍まれ
舎その中腹の戸板に圍まれと教習界の由々敷問題であ
た理科室を開きつて若しは、嬉しくも楽しいもある
男女が仕事をしてゐること、嬉しくも楽しいもある
は、嬉しくも楽しいもある、嬉しくも楽しいもある
べきだが、僕には寧ろ羞づかしくも勝つてゐた。
かしが勝つてゐた。
彼女は女教師に珍らしい高雅な容色と均整のされた姿體
の所有者でその上、女教師の母とは窓ガラス越しにこ
の骨つて才媛たりしといふの光景を見てゐたのであつ
同僚の評判でもある、彼女だ。
は僕の世界觀に共鳴して居る、女教師は突然僕を訪
好意を超えて、何かを希望してゐるもの、ようである
近頃その傾向が顯著に表はれてゐる僕は彼女に戀して
ゐないが同僚は戀愛的關係に於て見てゐる、彼女が水
銀と硫酸とを右の抽出しにM子と女教師とは相前後し
差し込み左の引き出しを引いて泣き初めた、僕は講すべ
き處置を持たなかつたグイと部屋を出て庭の草をむし
つてゐた。
三人の將來には恐ろしい複雑な事態が醸し出されるに
因であつたが調べて見たそれは玩具用の紙火藥で兒
ども達が物日に買ったものを押収してゐたものであつ
た、それが堆高くなつてゐたので抽出を引く途端、
摩擦爆發に到つたのであつた彼女の火傷はひどいと頼
と掌で極めて輕症だつた彼女が一度起き上つたかど
思ふと僕の膝の上で泣き崩れた、爆音は相當に轟いた
らしく田面の人も校舎の方を眺めてゐた。
校長はこの椿事の直に登校

昭和タキシ

電話三四三

新東屋染物店

電話六三三番

常磐線平驛前

電話四八六番

丸大運送株式會社

電話四六八番

山野邊藥局

電話五二二番

和洋銅鐵金物問屋

電話九九番

釜屋商店

電話五二二番

高久病院

電話五二二番

三井吳服店

電話二八四番

藤沼醫院

電話五〇七番

蒲鉾製造開始

電話三〇五番

魚

電話六三三番

木

電話六三三番

酒類

電話四八六番

綠川酒店

電話四八六番

常磐線平驛前

電話四六八番

丸大運送株式會社

電話四六八番

山野邊藥局

電話五二二番

和洋銅鐵金物問屋

電話九九番

釜屋商店

電話五二二番

高久病院

電話五二二番

三井吳服店

電話二八四番

藤沼醫院

電話五〇七番